

## 坪川藤夫氏の助役選任など 28議案を審議

### 第8回市議会定例会

十二月七日から十九日まで、平成十三年第八回市議会定例会が行われ、提案された二十八議案が審議されました。助役に坪川藤夫氏の選任が同意されたほか、平成十三年度白根市一般会計補正予算案など全議案が承認・可決・認定・同意されました。

### 承認・可決された 主な議案

●平成十三年度白根市一般会計補正予算(第七号)の専決処分  
既決の予算総額に七百八十三万六千円を追加し、予算総額を百二十億五千四百三十八万八千円としました。これは、高齢者のインフルエンザ予防接種の自己負担額軽減のため、接種委託料の計上を行ったものです。

●庁舎空調設備等改修事業庁舎空調設備等改修(機械設備)工事請負契約の締結  
契約業者は、昱・大洋・藤崎特定共同企業体で、契約金額が八千八百二十万円です。

●白根市奨学金貸付条例の制定について  
「白根市奨学金貸付条例」が制定されました。

貸付金額は、短期大学および同等以上修学年限を有する専修学校については月額二万円、大学については月額三万五千円とし、無利子で貸付を行うものです。

●政治倫理の確立のための白根市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について  
商法等の一部改正により、額面株式の制度が廃止されることから、額面金額の公開を規定している部分の一部改正を行いました。

●白根市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正、白根市職員の給与に関する条例の一部改正について  
人事院の国家公務員給与改定等の勧告に準じ、市議会議員の報酬や市職員の給与に関する条例の一部を改正しました。

人事院勧告の内容では、官民の較差が昨年よりもさらに小さく、本給

の改定は困難であることから、二年連続で本給の引き上げが見送られました。本給の改定を伴わない代わりに、官民較差に見合った年額相当額を暫定的な一時金として支給することとしていきます。

また、特別給である期末・勤勉手当については〇・〇五カ月前減し、年間四・七カ月とする三年連続の引き下げとなります。

●白根市工場等誘致条例の一部改正について  
厳しい経済状況のもと、企業進出を積極的に誘導するため、市の固定資産税の免除について、条例の一部改正を行いました。

●平成十三年度白根市一般会計補正予算(第八号)  
既決の予算総額に二億二千二百二十九万円を追加し、歳入・歳出予算の総額を百二十一億七千五百三十二万八千円としました。補正の主なものは次のとおりです。

□総務費 旧白根教員住宅跡地の売却収入などを、公共施設整備事業基金に積み立てることとしたほか、廃止路線代替バスの運行補助金などが確定したこと、この追加計上を行っています。

□民生費 国保特別会計繰出金の調整をはじめ、老人保健特別会計、介護保険特別会計への繰出金の調整を行いました。また、児童手当の対象者の増加や対象区分の変更などによ

る調整、私立保育所への特別保育などの委託料の追加を行いました。

□土木費 除雪経費など雪害対策費の追加を行いました。

□教育費 新飯田小学校用地取得事業の完了に伴い、不要となった借地料と用地取得費の不用残の減額を行ったほか、IT講習会開催経費の追加を行いました。



助役・坪川藤夫氏

### 同意された 人事案件

●助役の選任  
坪川藤夫氏(庄瀬五・五十四歳)の選任に同意しました。

同氏は、昭和四十五年に市役所に勤務して以来、農政課長、企画財政課長などを歴任しました。坪川助役は一月一日付けの就任となります。

●固定資産評価審査委員会委員の選任  
笠井三作さん(能登三・七十六歳)の選任に同意しました。同委員の任期は三年で、笠井さんは三期目です。

## 高齢者の健康増進拠点施設がオープン

### 白根市高齢者能力活用センター開所式



一月十一日、白根市高齢者能力活用センター(愛称・清楽苑)の開所式が行われました。このセンターは、高齢者の健康増進を図り、健康で生き生きとした生活を送れるよう支援するための施設として、昨年八月から建設工事を進め、建築延べ床面積一七・八四平方メートル、総事業費四千七百四十八万四千円を掛けて建設されました。

開所式には、市長、市議会議員、地域住民ら約四十人が出席。吉沢市長は「趣味を通しての仲間づくりや、寝たきり予防など健康づくりの場として、多くの人たちが活用してほしい」とあいさつしました。

## 市政発展のため最善の力を尽くす

### 坪川助役就任式



一月四日、白根地区公民館で助役の就任式が行われ、新しい助役に坪川藤夫氏が就任しました。坪川氏は昭和四十五年、白根市に奉職。以来、農政課長、企画財政課長などを歴任しました。

就任式で坪川助役は「少子高齢化に対応した福祉政策をはじめ、企業誘致や米の生産調整への対応などの地域経済の振興、行財政改革、市町村合併など重要な諸課題が山積しています。市長の補佐役として地域発展のために最善の力を尽くしたい」と決意を述べました。

## 平成14年度生産調整目標面積決まる

### 目標面積1,308.64ヘクタール



平成十四年度の生産調整は「米政策の見直しと当面の需給安定」から、昨年引き続き過去最大規模の面積になります。白根市への生産調整目標面積は、従来分一、二二八・八五ヘクタールと、緊急拡大分七九・七九ヘクタールが加わった一、三〇八・六四ヘクタールとなりました。

また、米の需給バランスを考えた計画的生産を推進するため、米の作付面積ガイドラインの二、九三三・六五ヘクタール(主食用水稲)も併せて配分となりました。

市では「水田農業経営確立推進協議会」で協議し、二月七日の「水田農業経営確立対策制度および配分説明会」で支援策等を含めた制度の説明をし、農家への配分を行います。

## 無災害・無火災を誓う

### 平成14年消防出初め式



一月六日、新春を飾る平成十四年消防出初め式が産業厚生会館で行われました。

式典前に行われた分列行進には、市内の消防団員約八十人と、消防車や救急車など十二台が参加し、雪が降る中、三の町商店街から産業厚生会館まで行進しました。

式典では、吉沢市長が「任務の重要性を深く認識し、消防業務に精励ください」と消防団を激励。その後の無火災分団表彰で、新飯田・白井・大郷の各分団に表彰状が送られました。